

事務事業 No./名 称		■サービス部門 生涯－02 吉屋信子記念館管理運営事業				ザイムスコード及び個別事業名			
No./名 称		生涯学習課 関連課				164 吉屋信子記念館管理運営事業			
主管課		生涯学習課							
分野名		生涯学習							
目標 (目標値)		記念館の部屋の使用率及び一般公開観覧者数の増加を図る。 使用率30% 一般公開観覧者数 6,500人							
人口等の データ		データ区分	21年度	20年度	備 考				
		人 口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)				
		世 帯 数	78,131世帯	77,430世帯					
運営資源 状 況		決算値	3,803千円	3,737千円		指標と評価			
		(国・県)				指標	利用者人数		
		(負担金等)	185千円	210千円		評価	△		
		(一般財源)	3,618千円	3,527千円		◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退			
		人員配置数	0.4人	0.4人		目標値	実績値		
		人件費	3,562千円	3,592千円		20年度	6,700人	6,082人	
		協働の パートナー			21年度	6,800人	6,014人		
事務事業 運営経費		総事業費	7,365千円	7,329千円		22年度	6850人		
		市民1人当 りの経費	42円	42円		23年度	6850人		
		対象者1人 当りの経費	1,224円	1,205円		最終年度 (27年度)	6900人		
ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)		団体名							
		公民館数							
		延床面積							
		職員数(専任)							
創意・工 夫・課題等 改善状況		課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 生涯学習施設から観覧施設への移行については要望も多いが、第一種低層住居専用地域にあるため、完全な観覧施設とすることは必ずしも適当でない。 旧居をそのまま残し、学習施設として活用しているため使い勝手が悪い。 また、施設の老朽化に伴い、修繕箇所が毎年増えてきている。						
		創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 記念館のパンフレットを増刷し、PRに努めている。 庭園や建物の整備を行い、繰り返し利用したいと思えるような環境づくりに配慮した。 新聞社、雑誌社等の取材に積極的に応じている。						
		未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 指定管理者制度への移行については、用途地域等の問題により、実現は難しいと判断している。 費用対効果の面からも、生涯学習施設としての部屋の利用率の向上を図る必要がある。						
		今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 当記念館の設置目的を踏まえながら、収入の確保や経費の節減等、効率的で有効な活用を図るために、今後もPR等に努めていく。 施設の維持管理については、現状の美観を維持しつつ、必要な修繕等を行っていく。						
一次評価(課長評価)					二次評価(部長評価)				
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了									
評価結果	改善の必要性	今後もPRに努め、集会室としての利用率の向上を図るとともに、施設の効率的な維持修繕を行うことにより、経費の増加を抑える。			評価結果	改善の必要性	集会室としての利用率は、年々向上してきているが、費用対効果を踏まえ、利用料収入を増加させる工夫と、効率的な維持修繕等が必要と思われる。指定管理制度への移行については、記念館の立地条件などを念頭に、研究していく必要がある。		
B	有				B	有			
課長名		鈴木 郁雄			部名・部長名		生涯学習部 植松 芳子		